



第98号 2011年3月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な目次

城下町萩のひみつ⑦ 萩城下の町印	P4
ズームアップ 出羽伸次(東京都)	P6
伊藤衛(萩市)	P7
懐かしい店 荒川蒲鉾店	P8
夢追人 NPO法人 維新・人・夢浪漫(萩市)	P12

平成21年1月、萩反射炉など萩の遺産を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」がユネスコの世界遺産委員会の暫定一覧表に登載されました。現在、萩市など7県11市が国内外の専門家や文化庁等と連携して登録準備作業を進めています。

各市が抱えている様々な課題を早急に解決できれば、登録までの最短の日程としては、平成24年に日本政府が決定しユネスコへ推薦書を提出、25年にイコモス(国際記念物遺跡会議)の審査、26年に登録決定となります。

春爛漫
世界遺産に
待ち遠し

「萩反射炉」撮影：野間幹雄(前小畑)



萩へのアクセス道が 国体までに開通します！



高架橋の工事が進んでいます(山田,2月)

10月の山口国体に向け、国や山口県が整備している高規格道路「小郡萩道路」や「萩三隅道路」が開通し、萩へのアクセスが便利になります。いずれも自動車専用道路で通行料は無料。

萩三隅道路
小郡と長門市をつなぐ「萩三隅

山口市小郡と萩市を結び中国自動車道につながる「小郡萩道路」は、昨年3月に美祿東JCT～十文字ICまでの0.6kmが、今年1月に秋吉台ICまでの2.3kmが開通しました。今後は5月に奇兵隊の本陣跡で有名な絵堂ICまでの10kmが開通する予定で、これにより萩市と新山口駅間が約14分短縮されます。萩や秋吉台への県内外からの交通アクセスが向上し、観光客の増加による経済効果や地域の活性化が期待されます。

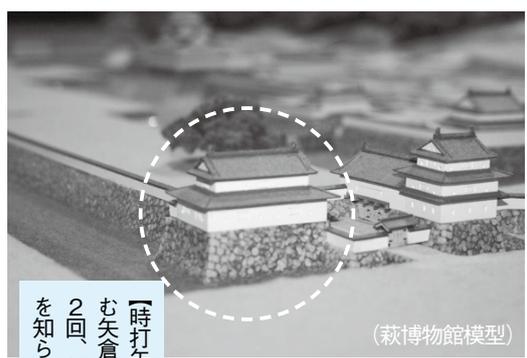
また椿地区にできる萩・三隅道路の萩IC入口付近に、マックスバリュ(兵庫県)が「ザ・ビッグ萩店」を国体までの遅くとも9月末までに開店します(店舗面積約7000㎡は、アトラス萩店の約1.2倍)。



山口県では昭和38年以来、48年ぶりの開催となる第66回国民体育大会(おいでませ！山口国体)が、今年10月1日～11日に開催されます。萩市では、軟式野球、柔道、カヌー、卓球が行われます。

48年ぶりの「おいでませ！山口国体」10月開催

道路」は、3年前の2月に、三隅～三見明石の約7.1kmが開通しており、残る三見明石～萩(椿、JR萩駅南側)の約8.1kmは、国体開催前の9月に開通する予定です。全線開通により萩市と長門市間が約10分短縮されます。



【時打矢倉 手前左側】萩城二の丸の外側を囲む矢倉群の一つ。矢倉に置かれた大太鼓が一日2回、朝夕に打ち鳴らされ、登城と下城の時刻を知らせていました。正面奥に萩城天守閣

時打矢倉
3年2か月ぶりに
萩城跡入口の石垣修復完成!!
平成19年10月の集中豪雨により崩壊した国史跡萩城跡「時打矢倉跡」(堀内)の石垣保存修理工事が昨年12月に完成し、3年2か月ぶりにきれいな姿が復元しました。
修理は、崩壊部とその周辺の石組みを解体後、崩壊前と同じ積み方で元の位置に石を積み戻す工事を行いました。
今回の石垣修理では、水の中で石垣を支えていた桐木が見つかりました。この桐木は、萩城の築城開始1604年と同時期のものだと推測され、約400年もの長い間、水中で萩の歴史を支えていました。

新萩図書館に 電子図書館を 開設

萩ネットワーク
会員の皆さんも
利用できます！

で電子書籍を読むことができる、いわゆるネット上の図書館で、公立図書館では全国で3番目の正式導入となる最先端の機能です。開館時には、約1000冊の電子書籍が準備される予定です。

貴重書籍デジタルアーカイブ

萩図書館が所蔵する貴重な資料をデジタル化したものを、電子図書館のシステムを利用して、公開していきます。

3月21日(月・祝)、萩市江向にあった萩図書館の隣接地に新しい萩図書館・児童館がオープンします。新図書館では、新しいサービスの一つとして、インターネットで電子書籍を借りることができ「電子図書館」を開設します。また、新萩図書館の特長として、萩市民のほか、萩ネットワーク会員の皆さんも利用できることになりました。

萩の歴史や教えにご興味のある方、来萩されなくても、ご自宅等から、萩図書館所蔵の貴重な書籍や資料の一部を閲覧できる機会です。ぜひ、ご利用ください。

電子図書館

インターネットにつないだパソコンの画面上で、いつでもどこからでも紙の本をめくるような動き

○利用方法 萩図書館に利用申込をしてください。発行されるIDとパスワードを入力し、貸出手続きを行った後に閲覧できるようになります。貸出期間2週間を過ぎると自動で返却され見えなくなります。1人1回5冊まで。
○対応機器 現在、ウインドウズパソコンのみですが、今後、タブレット端末や携帯電話端末にも対応できるようにする予定です。



明倫小と並びの緑豊かな中央公園に位置する新萩図書館・児童館

ご支援をお願いします 募集しています！

記念(メモリアル)寄付

新萩図書館の開館にあわせて寄付を募集しています。いただいた寄付金は図書などの資料や備品の購入費等に活用し、より良い図書館作りに役立てていきます。

5万円以上寄付していただいた場合は、寄付者の氏名等を図書館内に掲示し顕彰します。30万円以上を寄付された場合は、氏名掲示のほか感謝状を贈呈します。市外の方は「ふるさと寄付制度」として税額控除の取り扱いもできます。

雑誌スポンサー

週刊誌や月刊誌などの新刊雑誌の購入代金を負担していただく雑誌スポンサーも募集しています。

スポンサーになっていただいた場合、スポンサー名を提供雑誌の最新号の表紙カバー表面と配架場所に表示します(匿名可)。

受付期限は3月10日ですが、状況に応じ随時受け付けます。

□スポンサー期間 1年間

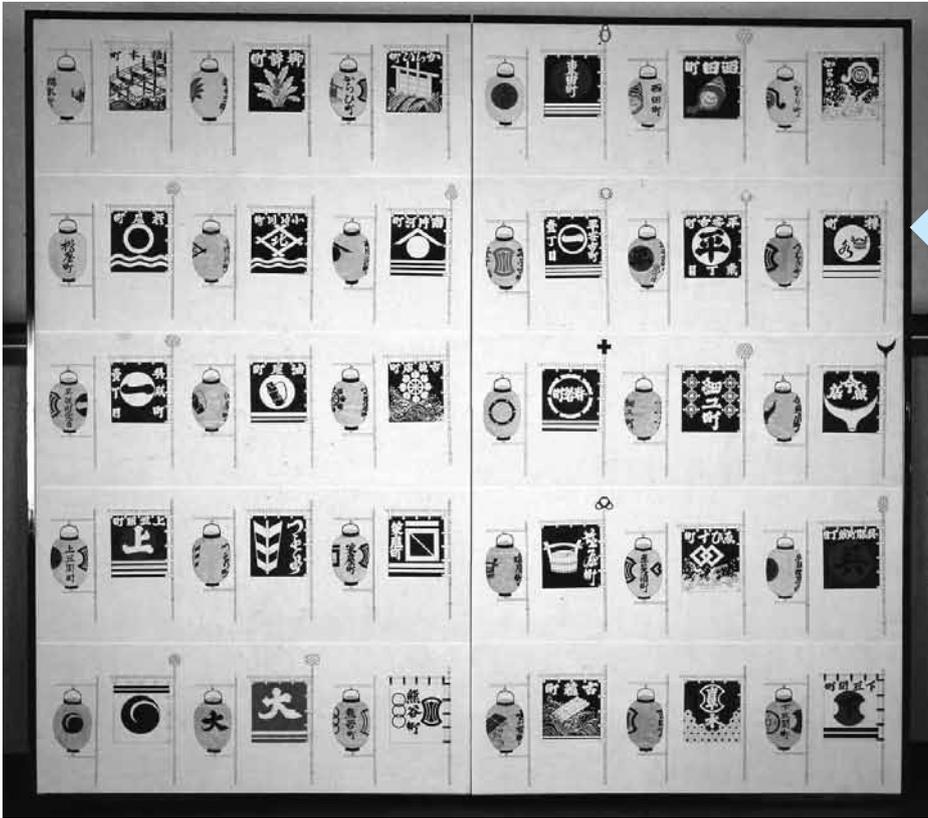
申込先 萩図書館(0838・25・6355)

30年ぶりの
寒さと
1月平均気温 萩で過去2番目(3.0度)

萩市観光協会が算出した、平成22年の萩地域の観光客数は151万607人で、前年比13・3%増となりました。宿泊者数も47万7830人で、前年比5.8%の増となりました。NHK大河ドラマ「龍馬伝」放映や吉田松陰先生生誕180

今年の1月は全国的に寒い月となりましたが、萩でも寒い日の続く1か月でした。下関地方気象台によると、萩の1月の平均気温は3.0度。これは、1981年に記録した気温を更新し、1963年の2.0度

町幟図 屏風



城下町絵図を通覧すると、三角州上の城下町が、水と戦い、水と共生してきた歴史をたどることができます。

城下町絵図の他に、城下町と水との関連を知ることができる資料が「町幟（のぼり）図屏風」です。萩城下には、全部で28の町人町

があり、萩町奉行が管轄しました。大雨により洪水の危険が生じた時には、城下の各々の町内では、三角州周囲の堤防に出勤して警戒にあたりました。

その際、それぞれの町の分担地域が分かるように、昼間は町印を染め抜いた幟を、夜間は町印を入

れた提灯を持ち場に掲げました。以下、各町人町のユニークな町印のいくつかをご紹介します。水と戦い共生してきた城下町の歴史を伝える資料です。

洪水に備え、緊張した出勤に用いられた幟や提灯ですが、町印の

中には笑みを誘うものもあります。幸いなことに城下町萩は、低湿な三角州の上に「まち」が築かれています。組織的な防災もあり、甚大な水害被害を被りませんでした。

萩博物館統括学芸員 清水満幸

おもとまち 御許町



唐樋町は唐樋門が描かれています。三角州北東部から中央辺りに広がっていた入江・湿地の深奥部の町です。御許町は、植物の万年青（おもと）が描かれています。

からひまち 唐樋町



にしだまち 西田町



瓦町は、瓦と水しぶきが描かれています。

西田町は、巻貝＝ニシ（萩地域では細長い巻貝を総称してニシと称します）が描かれています。西をニシで表現しています。

かわらまち 瓦町



さいくまち 細工町

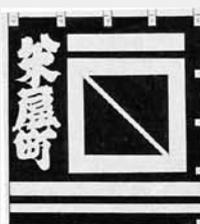


今魚町は魚の尾ひれが描かれています。細工町はカンザシなどの細工物の部分が描かれています。

いまうおのたなまち 今魚店町



こめやちょう 米屋町



塩屋町は（塩）水を汲む手桶が描かれています。

米屋町は、弦のある枡（ます）と米を均（なら）す棒とが描かれています。

しおやちょう 塩屋町



第4回 菊池ビエンナーレ

岡田 裕さん 大賞受賞

伝統の中で新しいものを表現していきたい!



萩市の陶芸家 岡田裕さん(64歳、椿東前小畑)の作品「炎彩花器」が全国的な陶芸展「第4回菊池ビエンナーレ」で最高賞の大賞を受賞しました。

菊池ビエンナーレは、財団法人菊池美術財団が、21世紀の陶芸界の新たな展開を探ることを目的に

隔年で開催している公募展です。第4回目となる今回は、全国から423点の応募があり、入選作49点から、岡田さんの「炎彩花器」が大賞1点に選ばれました。また、岡田さんの長男の岡田泰さん(34歳、椿東)の作品「淡青釉鉢」も入選に選ばれました。

岡田さんは、萩市前小畑で天明2年(1782年)に開窯した岡田窯の8代目。平成18年には、山口県指定無形文化財萩焼保持者に認定。日本工芸会の理事も務め、「日本伝統工芸展」などを作品の発表の場としていました。今回、菊池ビエンナーレへ出品したことについて、岡田さんは「ひとつの世界にこだわることなく、いろいろな世界(他の団体の公募展)に挑戦することで、自分の仕事の領域を広げようという自分への叱咤激励であると同時に、若い世代



えんさいかき
「炎彩花器」

直径約40cm、高さ約20cmの花器。白地の器に薄茶、赤茶、こげ茶色などで表現した炎の模様が浮き上がっているように見えるのが特色。

の人たちへエールを送る意味でも、挑戦することにしました」と話しています。
萩焼といえば、釉薬のかかったものを連想される方が多いと思いますが、岡田さんは萩の土の新しい表情を出したいと、約10年前から、土の質感を生かした「炎彩シリーズ」に取り組んでいます。「萩の土でどこまでの表現ができるのか。これからは、その可能性を楽しく、一生懸命に追求していきたい」と岡田さん。今後、どんな作品が生み出されるのか、その挑戦が期待されます。

◆菊池寛実記念 とも智美術館 (財団法人菊池美術財団)

実業家菊池寛実の娘で、現代陶芸コレクターの菊池智が長年蒐集してきた現代陶芸のコレクションを公開するために、2003年4月、東京・虎ノ門に開館。大賞を受賞した岡田さんの作品「炎彩花器」は、4月2日(土)から6月26日(日)まで展示。

□東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル(東京メトロ日比谷線・神谷町駅：出口4bから徒歩6分) ☎03・5733・5131



道の駅「萩しーまーと」 農林水産大臣賞 を受賞



全国地産地消推進協議会が実施する「地産地消優良活動表彰」で道の駅「萩しーまーと」の取り組みが農林水産大臣賞(交流促進部門)を受賞しました。山口県では初めて、また水産関係では全国で初めての受賞です。
萩しーまーとは、斬新なアイデアと行動力で多品種少量産地の特徴を活かしたマーケティング戦略

を展開。「萩の金太郎」「萩のあまだい」「萩の真ふぐ」が全国にも紹介され、萩ブランドの知名度アップにつながりました。

年間約150万人が訪れ、平成21年度の売上高は9.8億円。

また、「萩の地魚、もったいないプロジェクト」として、萩の地魚を新鮮な状態で下処理し、コールドスモーク加工した「萩魚の生ハム」や、萩の地魚のヒレや小骨を取り除いてフィレ加工し、竹串に刺した「萩の地魚串」などの新製品の開発にも取り組んでいます。これらは、3月13日(日)に開催される「萩の真ふぐ祭り」会場で無料試食提供され、祭り以降は萩しーまーとで販売される予定です。

道の駅「萩しーまーと」

萩市椿東北前小畑4160・61

☎0838・24・4937

営業時間：9時30分～18時

出羽 伸次 さん

萩商業高等学校昭和43年卒
東京都文京区在住、61歳



●私の近況

今、日本で最も明るい話題の「東京スカイツリー（写真）」を建設中の大林組に入社し、40年余りとなります。

自立式電波塔としては世界一の高さとなる東京スカイツリーは、今年3月に634mになる予定です。現在574m（2月5日現在）、建設中にもかかわらず、現場周辺は観光客で賑わっており、自宅から

も毎日その成長を眺めています。大林組は今年で120年、つまり二度目の還暦を迎えます。この節目の年に、還暦を過ぎて勤務する有難さを実感しております。

ここまで大過なく勤めてこられたのも、両親から授かった健康な身体と、青年期までに萩で培われた長州魂あってこそ。「お世辞は言えない」が、「打算を持たず」、「真面目にこつこつ」働いてきたせいか、よき上司、先輩との出逢いにも恵まれました。今後は「優しさと思いやり」を胸に、後進の指導に励みたいと思っております。

●萩の思い出

菊ヶ浜・女台場に近い寺町（北古萩）に生まれ育ちました。子ども頃は砂浜とお寺の境内、墓地が恰好の遊び場でした。

波打ち際まで長く続くふわふわとした砂浜と、強風に耐えて一定方向に傾く松林が連なる風景を思い出します。この走りづらい砂浜を素足で駆け回り、野球や相撲に夢中になって遊んだものです。そのお蔭で体力の土台が築きあげられたと思います。

母が他界して10年が経ちます。彼岸にはお墓参りをし、市内を散歩しています。幼少の頃大きく広く感じていた西田町、東田町などの町並みや通り筋がだんだん小さく

く、狭くなっているよう思え、侘びしい気持ちになるのは、私だけでしょうか。

●萩への一言

「高齢化社会、萩と都会の往来型生活が楽しめる町づくりを」

我々団塊世代の多くは、故郷に強い愛着があります。

都会に生活の基盤を持つ人間にとって、家族に頼れる時代は終わりつつあるようです。「家族から孤族へ」「社会の壊れるスピードのほうが速く、何をしても追いつかないと感じる」（朝日新聞より抜粋）と、社会における家族の在り方の変化は大きいようです。

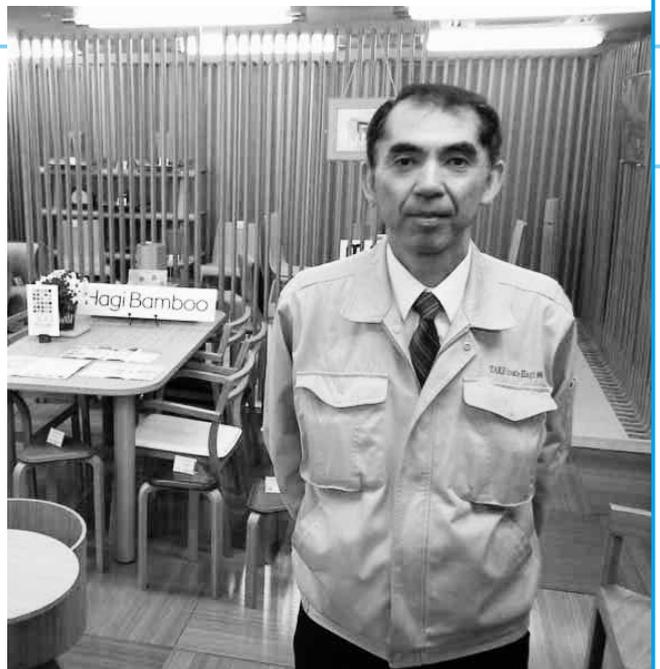
萩には家族の絆だけでなく、人の縁を大切に温かさがまだまだ残っています。団塊世代以上の

プロフィール

- 昭和24年5月 市内北古萩に生まれる
- 明倫小、明経中卒業
- 昭和43年3月 萩商業高等学校卒業
- 43年4月 株式会社大林組入社
- 平成15年6月 東京本社土木本部営業企画部長
- 17年7月 理事、同上
- 20年2月 東京本社地球環境室長
- 22年4月 大林ファシリティーズ株式会社（常務取締役）

経験豊富な「ばりばり老人」の最新の叡智」と地元で頑張っている若者の「行動力」の出会いにより、萩らしい魅力的な町づくりがなされることを期待します。そして今後の高齢化社会において都会との往来型生活が楽しめるような、独特の風土を残しながら活気ある町であり続けることを望んでいます。





TAKE Create HAGI 株式会社
 まもる GM 伊藤 衛 さん (大井・51歳)

萩の資源を有効に使った新しいブランド力により、雇用拡大、地域活性化を自覚するTAKE Create HAGI株式会社を訪ね、平成20年からジェネラルマネージャー(以下GM)として入社された伊藤衛さん(萩高30期53年卒)に、お話を聞きました。

萩から世界へ発信

過去北海道の鉄道で使われた除雪電車「ささら」など、需要のあった良質な萩の「竹」は、近年、山を荒らす厄介者となってしまいました。21世紀は環境重視、そのエコ素材である「竹」の時代にあった活用方法を模索し、萩から世界へと発

信できるモノを構築し、雇用回復、拡大から地域活性化へ繋げるという理念で設立したTAKE Create HAGI。以前、この萩ネットワーク(08年9月号)でも紹介してもらったように、北欧の大手家具メーカー「アルテック社」との連携により、竹を使った曲げ形状のデザイン家具を製造・加工し、輸出するといった形で事業をスタートしました。その後、デザイン性の高い竹製家具は、ヨーロッパのみならず、アメリカのロサンゼルスにも輸出されるようになり、世界的な注目度も上がりました。

マッチング

入社時には、TAKE Create HAGIの製品を自社ブランドとして試作・開発・販売する動きは既に進んでいました。フィンランドの若手デザイナー、

自社ブランド

振り返れば、私が社会人となって最初に就いた仕事は、国際海洋開発事業でした。アメリカを拠点とし、ニューヨーク、ロサンゼルス、また南部メキシコ湾沿岸地域で造船関連(建造・ドック・海上操業など)に約10年間携わっていました。その後、生まれ育った萩に帰郷してからは精密機械や造船メーカーに勤務し、特にものづくりにから営業職に従事していました。豊北町(現下関市)にある造船会社においては海外からの問合せ、注文を受けるオペレーターのような業務にも就いていました。しかし、通勤に往復3時間かかる生活により体調を崩し、退職せざるを得なく、この萩で最後の就労をと考えていた矢先、TAKE Create HAGIの活躍を知り、故郷萩の地で今までに得た経験を生かし何らかのかたちで貢献していきたいと思い、生まれ育った萩のために働きたいという想いが重なり、ハローワークに相談し、刀禰社長に会いお話をさせていただき、入社に至りました。

ジェネラリスト

ナオト・ニイドメ氏とミッコ・パークナン氏によるデザイン製品「magaru」は竹の強度、軽さ、弾力性を最大限に活かし、竹を使っていると感じさせないフォルム(形態)でありながらも、竹集成材でしか出せない味わいを極めています。また、「Hagi Bamboo」は世界的なプロダクトデザイナー・喜多俊之氏とのコラボレーションによる製品、竹の特徴である軽さと丈夫さに加え、曲げの技術とイタリア製の革シートを用いながら、現代の生活空間に馴染むシンプルなライン構造を表現しています。

萩の良質な竹に、竹に対する概念を打ち破る当社工場の加工技術。そして世界が認めるデザイン力。それがマッチングし、世界へ打って出るツールを手に入っていると感じています。そして、次は、どの

ようにしてブランド力を積み重ねていくことができるかが課題であり、それが今後の挑戦だと感じています。過去にも東京、大阪、ヘルシンキなどの大都市で開催された国際展示会などにも出展し、販路開拓を展開しています。更に昨年は、より攻撃的に国内顧客開拓マーケットを広げようと、東京に営業活動拠点を構えました。とりわけ私は、国内外のお客様、東京の営業マン、萩の工場をスムーズに繋げるような業務に携わっています。過去の職業で培った経験を微力ながら活かしつつ、ブランドを創るという今までに経験したことのない世界で、やりがいを感じながら、GMというよりジェネラリスト(スペシャリスト)の対義語で、多方面で才能や能力を発揮する万能型な人として、TAKE Create HAGIの躍進と地域復興のために努めていきたいと思っております。



© TAKE Create HAGI 株式会社
 山口県萩市江向 451
 ☎ 0838・22・0058
 E-mail info@tch-corp.com
 URL http://www.tch-corp.com
 代表取締役: 刀禰 勇
 資本金: 4,500 万円
 設立: 2006 年 3 月

インテリアライフスタイル展 出展予定
 開催期間: 6月1日(水)~3日(金)
 場所: 東京ビックサイト・西ホール

懐かしい店

荒川蒲鉾店

ギョロツケで
おなじみ



ギョロツケ60円、ごぼう巻き300円

観光客はもとより、地元の人も食卓に、贈り物にと好んで買われ、萩出身者の方も帰省したときはお土産に持って帰るなど、多くの人々に愛される蒲鉾屋さん「荒川蒲鉾店」を訪れ、4代目店主・荒川勉さん（59歳）にお話を聞きました。

創業何年か詳しいことはわかりませんが、店にある大正天皇からの賞状をみると大正初期には荒川蒲鉾店は存在していたようです。創業者は曾祖父で私は4代目となります。家族操業の蒲鉾店に生まれ、幼年時代より原材料となるエソの頭を取る作業を手伝ったりと、やはり家業が生活の中心にありました。当時は、他の個人事業者の家がそうであるように、それが当たり前でしたし、跡を継ぐということも当たりまえだと感じていました。今では将来を義務つけられる子どもはあまりいないでしょうが、当時はそれが普通なことでも疑問に思うことも、不満を持つこともありませんでした。時代なんですよ。

高校を卒業し、萩を出て広島の卸問屋に就職しますが、それもまた蒲鉾店を継ぐためのもので、22歳で帰郷し、父と母と共に働き始めます。翌年、広島で出会った女性と結婚し、親子2世帯で荒川蒲鉾店を切り盛りします。これもまた、荒川蒲鉾店の自然な流れで、母も荒川に嫁ぎ、蒲鉾作りを先代から学び、と言っても、職人の世界ですから、決して教えてもらうということではなく、背中を見て覚えるといった具合に、代々伝わる蒲鉾作りを身につけてきました。むしろ、唯一そののみということが荒川蒲鉾店の伝統であり、それは商品の数にも表れており、蒲鉾は「萩月」の1種類のみ、その他はごぼう巻き、天ぷらなど6点の商品を昔ながらの手法で味を守るところを大切にしています。

唯一商品開発をしたというのが、魚ロツケで、これは昭和30年ごろ母が考案し、私達夫婦も引き継いで作っています。伝統のこだわりとはいえ、冷凍モノの材料を使用しないというのもあり、必ず朝、市場で仕入れた新鮮な素材を使い作る。そして、もうひとつは広告を打たないというのも受け継いでいます。広告費をかけるなら、その分価格でお客さんに還元する。商品の点数が少ないのも、そういう意味合いが大きいのです。

蒲鉾を作り始めて38年、先代が亡くなってから14年、辛かったこと・良かったことは？と聞かれても、辛いこともなく、良いこともなく、ただ黙々と蒲鉾店の生活を送ってきたと感じています。先代がそうであったように、朝2時、3時から天ぷらなどの揚げ物をし、

5時に市場に出て、市場から帰ってから蒲鉾作りをする。店舗も年中無休ですし、独自の生活習慣を繰り返す毎日でした。決してそれが辛かったわけでもなく、先にも言ったように、それがごく当たり前のことだと考えています。

ただ、いくら先代が引き継いだことを守り、お客さんを大切にしている、時代の流れというものも感じざるを得ず、この度訪れた不景気は深刻なものです。それでも私たちはただひたすら作り続けるだけですが、それと、私達が跡を継いだのがその時代で当たり前のことであったように、今の時代は、家業を継がず、職業を選択することが当たり前となつていまして、息子には蒲鉾店を継げとは言いません。むしろ、今の時代、このような家業を継げというのは酷なことだと考えています。ということで、荒川蒲鉾店は、私たちの代で閉店となるでしょうが、私たちが蒲鉾を作り続ける限りは、今まで通り、ご虫屑にしてください。お客さんに感謝し、変わらぬ荒川の蒲鉾を提供していきたいと思っています。

高校を卒業し、萩を出て広島の卸問屋に就職しますが、それもまた蒲鉾店を継ぐためのもので、22歳で帰郷し、父と母と共に働き始めます。翌年、広島で出会った女性と結婚し、親子2世帯で荒川蒲鉾店を切り盛りします。これもまた

高校を卒業し、萩を出て広島の卸問屋に就職しますが、それもまた蒲鉾店を継ぐためのもので、22歳で帰郷し、父と母と共に働き始めます。翌年、広島で出会った女性と結婚し、親子2世帯で荒川蒲鉾店を切り盛りします。これもまた

◎荒川蒲鉾店
萩市東田町46
☎083882220337
営業時間…8時～18時
定休日…無休

萩が舞台の「萩みれん」

観光大使 松前ひろ子さん 新曲発売

● 待望の萩女の歌

これまで、萩のご当地ソングといえは、尾形大作の「吉田松陰」や山本譲二の「長州の男」「高杉晋作」など、男をイメージする男歌ばかりでしたが、萩女の皆さんもお楽しみいただける新曲「萩みれん」が1月に発売されました。萩観光大使で演歌歌手の松前ひろ子さんが、萩の情景を込めて歌います。

北海道出身の松前ひろ子さんは、いとこで演歌の大御所北島三郎さんの内弟子として修行し、1969年にデビュー。2年後交

通事故で歌手活動を断念せざるを得ない状況になりましたが、夢を捨て切れず8年にもおよぶリハビリ生活を乗り越えカムバック。大人の歌を唄える歌手として、全国のカラオケファンから熱狂的支持を受けています。

● 萩の名所歌詞と映像で

平成17年春、指月公園で開いたコンサートを縁に、萩市観光協会から萩観光大使に任命されました。

萩みれんのために新調した着物で歌う松前さん



日本航空(JAL)の機内オーディオサービスに、萩みれんが「日本の歌」として流れました(1月限定)

カラオケ大会 応募方法

● 予選会

- ①札幌：5月14日(土)、②仙台：5月15日(日)、③東京：5月21日(土)、6月19日(日)、④大阪：5月28日(土)、⑤名古屋：5月29日(日)、⑥福岡：6月11日(土)、⑦山口：6月12日(日)

● 決勝大会

萩市民館：7月9日(土)

● 応募方法

5月10日までに、「萩みれん」CD・カセットテープに貼ってある応募券をつけて、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日(地区)を記入のうえ、録音したカセットテープ、MD、CDRを郵送

● 応募先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル内徳間ジャパンコミュニケーションズA&R2部 松前ひろ子「萩みれん」カラオケ大会係 (03・6381・7756)

● 萩みれんを歌い、萩観光大使として盛り上げたい

1月29日に萩市民館大ホール、30日に旭コミュニティセンターで開かれた新曲発売記念コンサート。東京からかけつけたファンクラブツアーの参加者は「萩の皆さんにもこんなにも応援されて松前フ

ンとして嬉しいです。私たちが、萩の方も、松前さんもみんなで輪になって、この曲と萩を盛り上げましょう」とメッセージ。

● 全国7大都市「萩みれん」カラオケ大会

5、6月には東京、大阪、福岡など全国7都市で「萩みれん」を課題曲にしたカラオケ大会が開かれ、7月9日(土)萩市民館大ホールで各地区を勝ち抜いたチャンピオンによる決勝大会が開催されます。松前さんも審査員として各会場を訪れ、歌を披露します。

あなたが来るはず ないものを
後ろを振り向く 鍵曲
肩を抱かれた あの夜の
優しさ優しさ 恋しくて……
寄り添い歩く 二人連れ
見るたびせつない 菊ヶ浜
揺られて鶴江の 渡し舟
このままあなたに 戻りたい
無理に笑って 見送った
別れの別れの 後ろ影……
涙に霞む 指月山
女の未練の ひとしづく



☆「萩みれん」CDを2名様にプレゼント

ふるさと萩の味 蒸気まんじゅうの歴史

1月号で、萩のお祭りにはかかせない「蒸気まんじゅう」を60年以上作り続けている岡村茂作さんご夫婦を紹介しました。今回は、蒸気まんじゅうの誕生をご案内します。

1905年の日露戦争の頃、岡山から来た人が浜崎の住吉神社前の山崎弥三郎宅で商売をはじめたのが始めといわれています。そして2、3年後にその人が居なくなつたあと、山崎がついで病没するまで焼いていました。祭日や縁

日などでは吹矢で当てるのが盛んに行われました。良い材料で上手に焼いた焼きたての蒸気まんじゅうは、「庶民の味」ともいふべき風味があり、大いに食欲をそそつたものです。

昭和16年、萩を訪れた作家・横光利一らは、その焼き立てを食べべて異口同音に「東京の今川焼や鯛焼よりうまい」と賞味しました。萩で少年期を過ごした人にとつて、蒸気まんじゅうは忘れにくい風物詩の一つです。

※「萩の百年」より（昭和43年、萩市役所発行）

最盛期には25軒ほどあったと言われますが、現在、昔なつかしい味を焼き続けているのは萩市・阿武町で、わずか4軒のみとなっています。



▷ほかほかの焼き立て。ミミもカリカリしておいしい

- ①蒸気まんじゅう屋（岡村茂作）
- ②蒸気まんじゅう屋台（清水明人）
- ③久光製菓所（道の駅・萩一まーと）
- ④八代本店（道の駅・阿武町）

図書館の歴史

3月21日の新萩図書館開館に併せて、昭和49年から皆さんに愛されてきた旧萩図書館（江向）が1月に閉館し、約36年の歴史に幕を閉じました。



①明治34年～阿武郡立萩図書館



②昭和26年～山口県立萩図書館



③昭和49年～萩市立萩図書館

萩図書館の前身は明治34年に全国初の郡立図書館として開館した阿武郡立萩図書館。のち移転を繰り返しながら、110年の永きにわたり、萩の文化の拠点としての役割を担いました。「学生時代、通つたね」という読者の皆さんも多いのでは。

萩図書館110年のあゆみ

明治34年(1901)	阿武郡立萩図書館が山口県立萩中学校内（堀内、現在の萩高校）に開館。のち山口県に移管（写真①）
昭和26年(1951)	山口県立萩図書館が江向（現在は市役所本庁）に移転新築（写真②）
昭和49年(1974)	山口県立萩図書館が閉館し、萩市立図書館が現在地（江向）に開館（写真③）
平成23年(2011) 3月21日(月・祝)	新図書館・児童館「萩あいぶらり」が開館します。（3頁にて紹介）

阿武町

福賀木目会の「組み木の日本地図」を 県内の小学校に配付

4年生クラス県内548学級へ!!

福賀木目会（代表・木村菊人さん他会員3人）が県産材ヒノキを使って商品化した「組み木の日本地図」が、県内の小学校4年生クラス548学級に配付されることになりました。

財団法人やまぐち農林振興公社が、子どもたちが日頃から木を使った学習教材に親しむことにより、豊かな心身や森林や樹木に対する理解を深めて欲しいと実施するものです。

「組み木の日本地図」は、ヒノキの一枚板（厚さ2cm）を47



▲福賀木目会代表の木村菊人さん

都道府県に電動ノコギリでくりぬき、サンドペーパーで仕上げたもので、木目や木の感触、香りが特徴。

年間の製作数が、150セット程度なので今後5年かけて県内の小学校に配付します。

代表の木村菊人さん（90歳・久瀬原）は、「子どもたちにヒノキの香り、木の感触を感じて欲しいですね。地図の形を、目で見たり、手でさわると都道府県の形や位置がおぼえやすいのでは」と話しています。

問い合わせ

○組み木に関すること 道の駅「阿武町」（0833888・228288）

○木村菊人さん宅（0833888・50023）



▲ヒノキの香り、木の感触が味わい深い



同窓会だより

情報
ください!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。

hagi-network@city.hagi.lg.jp



会員投稿



10月23日

第7回 つばき会周南支部同総会

きらぼし会館（下松市）

夕刻に総勢54人が集いました。周南支部長は第6回まで勤められた師井弘さんから福井圭見さんに交替されそれぞれ挨拶しました。萩商工高校山本貴司校長、つばき会池田誠次会長、田中義昭副会長を来賓として迎えて学校や本部の状況説明を頂き、特に後輩たちの活躍に頼もしさを感じることができました。

続いて、新たに参加された方から自己紹介を頂くなど、会員間交流の輪も広がりました。バイキング形式で飲食しつつ萩にちなむクイズやビンゴゲームなどで盛り上がりました。全員そして席ごとに写真を撮影し、たくさんの笑顔も記念写真集に残すことができました。今回は、収容力が大きく設備が充実している「きらぼしホール」で開催しましたが、若手会員皆さんの協力のもと準備し開催できたことも参加者に好評でした。

なお、第8回は今年10月22日に同じ場所で開催を予定しています。事務局は石戸次郎さん（昭和46年商業卒）0833・43・1211（日立交通テクノロジー(株)内）

1月22日

つばき会下関支部・巴城会合同懇親会

南風泊漁港活魚センター（下関市）



下関地区の萩商・工、萩高3校の合同懇親会で約60人出席。松村久支部長（萩商業）が「今年から事務局長が、原さんになった。中国・韓国に負けず、下関はがんばっている」と挨拶。乾杯後、恒例のとらふぐのコース料理・ふぐのひれ酒に舌鼓を打ちながら、皆で近況を報告し合い、大いに盛り上がりました。最後は、萩高校歌、萩商業校歌を斉唱して締めくくりました。事務局は原嘉昭さん（平成3年工業機械卒）090・4652・5028

学校だより

萩商エラグビー部 花園で初戦惜敗

昨年12月、萩商エラグビー部が大阪府東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催された「全国高校ラグビーフットボール大会」に出場しました。

対戦校は、岩手県代表の黒沢尻工業高校。先制トライを許した後、前半20分にトライ、ゴールキックを決めて同点にしますが、追加点に恵まれず7対17と惜敗しました。

今回が9年連続17回目の花園出場となった萩商エラグビー部。1・2年生による新チームも2月の山口県大会で優勝するなど、



近年、県内では圧倒的な強さを誇っています。来年の活躍に期待です。

萩商工同窓会名簿を発行

萩商、萩工、萩商工
約2万2000人

萩商工同窓会は、つばき会愛称決定を記念して、昨年12月に同窓会名簿を発行しました。

これは学校統合による会員相互の親睦を図り、母校との深い連携を保つためのもので、名簿には、明治44年創立の萩明倫商業補修学校時代から、萩商業、萩工業、そして萩商工の卒業生を含む約2万2000人を収録しています。約520頁の表紙には、つばき会の「椿の

花」をデザイン。昔の授業風景や体育祭などの写真、高校の沿革なども掲載しています。また人名索引も通常の五十音順に加えて、山口県内は市町別、全国は都道府県別と使いやすくなっています。

※詳しくは萩商工のホームページをご覧ください。



萩夢浪漫

夢追人

NPO法人 維新・人・夢浪漫

代表 古谷 末廣 さん (椿・64歳)

◎NPO 維新・人・夢浪漫
〒758-0046 萩市大字西田町 43
☎0838・22・1855

昨年11月に設立し、萩博物館から田町アーケードに至る御成道に幕末に活躍した偉人50人の説明板を設置、更にその50人の偉人をカ ルタにした「萩かるた」を制作、発売し、メディアはもちろん、多くの教育機関からも注目を集めているNPO法人 維新・人・夢浪漫の発起人であり、代表の古谷末廣(すえひろ)さんにお話を聞きました。

浪漫のある街

NPOを設立する以前は、市内ホテル旅館業3社で営業を37年間やっており、業務で北海道から鹿児島まで駆け回っていました。その先々で、「山口県萩市から来ました」と伝えると、旅行に関わるすべての業者さんが振り向いてくれました。それほど萩は観光地としての評価が高く、住民が思う以上に、全国的に魅力のある観光地だということを感じていました。

そこで疑問に思ったのが、皆さんは何処に魅力を感じているのかというところで、行く先々で知り合った人々に聞いてみると、萩藩城下町といった物理的な観光資源ではなく、高杉晋作や吉田松陰など、明治維新の原動力となった萩出身の偉人に興味があり、多くの偉人を輩出した環境や土地柄に

浪漫を感じているという回答が多かったのです。そこで、私はその魅力を多くの人に感じてもらえることができれば、地域の活性化に必ず繋がると確信を持ち、退職後NPOとして、そのような活動ができればと動いたのです。

道を作る

どのような事をすれば、その浪漫という精神的魅力を感じてもらえるのだろうかと設立までの4年間考え、一つに「道を作ろう」という考えが生まれました。「道」という言葉は、道路を表す「道」もあり、人々が進む人生としての「道」という意味もあります。

どちらの「道」も共通しているのが、その「道」には人々が魅力を感じて集まってくるからこそ大きな力を生むということ、道路も人が多く通うものとなれば、自然とその周りには商業施設など集まり活気が生まれ、人生も多くの人と出会い刺激を受けることで、浪漫を持ち、より豊かなものとなります。それは既にこの世を去った偉人との出会いもそうだと思います。その考えが、御成道に偉人の説明版を立てようという発想に繋がりました。

精神を受け継いでもらうため

吉田松陰、高杉晋作などの有名な偉人だけでなく、日本の近代化に尽力した萩出身の偉人は多く存在し、有名な偉人が影響を受けたルーツとなる人も多くいます。その方々の事を知れば、新しい刺激となりますし、そのような道があると知れば、萩に精神的魅力を感じている方々は更に注目してくれるのではないかと思います。そうして50人の偉人の説明板を立てましたが、果して地元の方は、それらの偉人を知っているのだろうかという疑問が浮かびました。精神的魅力を感じている市外の方々は、地元の方は歴史を知り、その偉人の精神を受け継いでいる街であると期待します。そこで、偉人50人の似顔絵を書いた「萩かるた」を制作しようと考えました。

維新・人・夢浪漫

「萩かるた」を制作し、市内小

学校などの教育機関に寄付すると、メディアに扱われ、近隣自治体の教育機関だけでなく、福岡、鹿児島、高知、香川、遠くは千葉からも問い合わせがあり、購入してくださいました。やはり萩が持つ精神的魅力は全国区なのです。

現在、御成道にある説明板の横に、その偉人の像(FRP)を設置しています。まだ4体ですが、行く末は50人すべての像を設置する予定です。また、「萩かるた」だけでなく、その50人を知り、刺激を受けてくれる人が増えてくれるよう「萩かるた」をモチーフに、お土産屋さんで袋詰めで使うシー ルを制作しました。

このように、NPO法人維新・人・夢浪漫は、維新を成し遂げた偉人を輩出した街の魅力を「道」作りに変換し、観光地としてのベースアップ、これからの若者への道作りで、地域活性化を考えていきます。



▷説明板と像(迎賓館を設計した近代建築家の片山東熊)

☆「萩かるた」を2名様にプレゼント

コラム「二度目の萩」(抜粋)

夕食に訪れたのは「地産謹製料理店 MARU」(吉田町、0838・26・5060)である。フグ、甘鯛、マグロ、カツオなどがずらりと並んだ「お造り」。それぞれの舌を覆いつくすような旨みの乗り具合に思わず笑みがこぼれる。「タコツボ」と呼ばれる蛸の煮付けは味わいがしつかりしていて、酒が欲しくなる。「むつみ豚の自家製ハム」も濃厚。「見蘭牛のもつ煮込み」の密度の高い味は忘れがたい。「ぐべ汁」という魚介たっぷりの汁ものは、貝のエキスが身体中にしみわたる勢いである。おまけに「萩自家醸造全

5歳元の酒セット」は、酒飲みにはありがたい。「見蘭牛の握り」も素晴らしい。萩の素材に惚れ込んだオーナーの意気込みがカタチとなった一軒であった。

『荒川蒲鉾店』の創業は大正の初め。萩近海で捕れるエソだけを使う蒲鉾を製造、販売し続けてきた。同じエソを使いながらも野菜を入れてフライにしたのが「魚ロッケ」。野菜を入れた魚のすり身をコロッケのように揚げたことからこのネーミング、見事だ。昭和、それも戦後生まれで、商標登録商品がある。味を含ませたごぼうをエソの皮で巻いた



二度目の萩

録商品である。まさにコロッケで魚の味わい。旨い。朝は7時から営業で、早く出かければ揚げたてを食べることができるのだ。もう一品「ごぼう巻き」という商品がある。味を含ませたごぼうをエソの皮で巻いた

ものだが、「八幡巻き」とは一味異なる。これは萩の郷土料理。それらの出来たてが味わいたければ早めの出発を迫られるというわけ。

かどかみたけし 門上武司(フードコラムニスト、関西の食

雑誌「あまから手帖」の編集顧問)

※国内線の全路線と国際線の全座席のポケットに置かれ、自由に持ち帰ることができます。

ビッグコミック 2/25日号(2月10日発売)

連載コラム「名物に旨いものあり」 「萩の真ふぐ」を紹介

この上ない贅沢を、驚きの価格で!! まだ世に知られていない激旨フグ!!



冬季最高の贅沢といえは「フグ」。めちゃ食いたい、めちゃ高い。しかし、一人前1,000円ちょっとで食べられる天然フグがあるのだ!! そのフグの正体は山口県萩市の真ふぐである。



漁期は2月から4月。下関南風泊市場の水揚げの7割(1シーズンで300トン)を捕獲するのが、萩越ヶ丘延縄船団15隻。トラフグはほとんどが養殖だが、こちらはほんまものの活魚である。

刺身にして食べるとトラフグよりやや柔らかい歯応えで、味わい深い。ちり鍋用のプリンとした食感も堪能あれ。握り寿司なら、身が堅いトラフグに、真フグが圧勝するだろう。……

■問い合わせ 道の駅・萩シーマート ☎0838・24・4937(電話等でお取り寄せができます)

萩博物館だより

(☎0838・25・6447)

なつかしい

日本のふるさと・萩

—1930年代の

映像・絵画から—

開催中〜4月10日(日)

1935年(昭和10年)の「萩史蹟産業大博覧会」映画 1920年代の長門峡を紹介する絵画、史蹟観光を志向する絵画や絵葉書、古写真などから、「日本の心のふるさと・萩」を再発見する。

萩・北浦

クジラ文化

—西日本最大

捕鯨漁業の軌跡—

4月23日(土)〜6月19日(日)

日本鯨類研究所から寄贈を受けたクジラ骨格を披露し、西日本最大の捕鯨漁場であった萩・北浦地域とクジラとの深いかわりの歴史を紐解きつつ、クジラや海に育まれてきた文化について紹介する。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(☎0838・24・2400)

陶芸展示

萩焼の茶碗

開催中〜4月3日(日)

古萩(江戸時代)の茶碗から現代の作家の茶碗まで55点を展示 ※浮世絵、東洋陶磁の展示もあります。

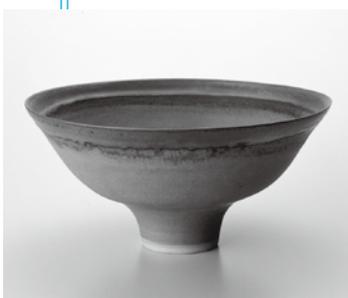
人家庭に生まれた。ウィーン工業美術学校でろくろに魅せられ、陶芸の道志す。ミラノ・トリエンナーレやパリ万国博覧会などで受賞を重ね、ロンドンを拠点に88歳まで作陶活動を続けたモダンなデザインが人気を集めている。

ルーシー・リー展

4月29日(金)祝〜6月26日(日)

20世紀を代表する女性陶芸家の没後最大規模の回顧展。

ルーシー・リー(1902〜95年)はオーストリアのユダヤ



青釉鉢(1978年頃)

情報アラカルト

アメリカ

■兼田昌尚

the elusive tea bowl

兼田昌尚の作品が展示されます。

3月12日(土)～4月3日(日)

アメリカ マサチューセッツ州ボ

ストン ラコステギャラリー

関東地区

■現代陶芸アートフェア

兼田昌尚の作品が展示されます。

3月5日(土)～6日(日)

東京都千代田区丸の内3・5・1

東京国際フォーラム

(03・5221・9000)

■おいでませ山口館のイベント

○やまぐち新酒フェア

萩の八千代酒造(全館)が展示し

ます。

3月7日(月)～13日(日)

東京都中央区日本橋2・3・4日

本橋プラザビル1階 おいでませ

山口館(03・3722・3510)

■「ふるさとの食 につぼんの食」

全国フェスティバル

岸田商会在地ビールを販売、平

太郎、瀬つきあじも販売されます。

3月12日(土)～13日(日)

東京都渋谷区神南2・2・1

NHK放送センター

(03・3465・1111)

■内田青虹歴史画展「戦国女人か

ら、明治・維新の忘れ得ぬ人々

萩市出身の日本画家内田青虹さ

ん(萩高5期、28年卒)の個展

3月22日(火)～28日(月)

東京都中央区八重洲1・5・15

田中八重洲ビル1F

(03・3273・6208)



内田青虹
「細川ガラシャ」

■菊池ビエンナーレ

昨年12月に菊池ビエンナーレの

審査が行われ、岡田裕氏の「炎彩

花器」が最高賞を受賞しました。

4月2日(土)～6月26日(日)

東京都港区虎ノ門4・1・35

菊池寛実記念 智美術館

(03・5733・5131)

○記念講演会

※4月30日(土)午後3時から「記

念講演会」が行われ、岡田裕など

が作品制作への思いを語ります。

■NIPPON VISION 4

若手作家による新感覚のアクセ

サリ、衣食住の生活工芸品の展

示販売。

金子司の陶芸、濱中孝子の焼物

アクセサリーが展示されます。
4月6日(水)～11日(月)
東京都新宿区新宿3・14・1
伊勢丹新宿本館6階展示場
(03・3352・1111)

■萩ガラス工房 展示会

NIPPON MONO IC

HI (2月20日、東京国際フォー

ラム)で、全国50社の中から準グ

ランプリに選ばれました。

4月12日(火)～18日(月)

千葉県千葉市中央区新町1000

番地さとう千葉店7階特選食器売

場(043・245・2111)

■食卓四景 4scenes for table

濱中史朗の作品が展示されます。

4月15日(金)～24日(日)

東京都世田谷区玉川3・17・1

サケショップ 福光屋玉川店

(03・5717・3305)

■岡田裕個展

4月27日(水)～5月10日(火)

東京都豊島区南池袋1・28・1

西武池袋本店

(03・3981・0111)

中部地区

■やきものの現在 土から成るか

たち

松尾優子の作品が展示されます。

3月12日(土)～4月3日(日)

岐阜県多治見市本町5・9・1

多治見市文化工房ギャラリーウオ

イス(0572・23・9901)

■食卓四景 4scenes for table

濱中史朗の作品が展示されます。
開催中～3月6日(日)
石川県金沢清川町3・17
ファクトリー ズーマ/ショップ
(076・244・2892)

3月19日(土)～27日(日)

長野県松本市元町1・3・27

タドコロ ガロ

(0263・36・0985)

■工芸の五月 みずとこめに

濱中史朗の器が展示販売されま

す。

5月21日(土)、22日(日)、28日

(土)、29日(日)

長野県松本市中央3・13・11

池上邸 蔵と庭

(0263・32・0141)

関西地区

■大阪指月会

関西地区の萩高同窓会

4月17日(日) 正午～午後3時

大阪市北区芝田2・4・53

大阪弥生会館

(06・6373・1841)

■第57回日本伝統工芸展

陶芸家 岡田裕、岡田泰、兼田

知明、玉村登陽、波多野善蔵、波

多野英生、松尾藻風、松尾優子の

作品が入選しました。

3月10日(木)～15日(火)

大阪市心斎橋筋1・7・1

大丸大阪心斎橋店

(06・6271・1231)

■野坂和左 作陶展

4月6日(水)～12日(火)
三重県津市東丸之内4・10
津市まつびし百貨店
(059・228・1311)

■野坂康起 作陶展

4月13日(水)～19日(火)

三重県津市東丸之内4・10

津市まつびし百貨店
(059・228・1311)

中国地区

■二人展

兼田知明と玉村信一の作品が展

示されます。

3月31日(木)～4月6日(水)

広島市中区胡町6・26

福屋八丁堀本店

(082・225・2111)

■濱中孝子 個展

5月21日(土)～29日(日)

鳥根県益田市西平原町862・4

草花舎(0856・27・0592)

山口県

■没後80年 高島北海―造化の

秘密を探る―

地質学や森林学の技術官僚とし

ても活躍した萩市出身の日本画家。

山水画や仏ナンシー留学時代のス

ケッチなど晩年までの画業をたど

る。

開催中～3月21日(月・祝)

下関市長府黒門東町1・1

下関市立美術館

(083・245・4131)

■金子司 作陶展
4月5日(火)～11日(月)
宇部市新天町1・2・27
ギャラリーシーふくなが
(0836・31・0085)

■山口伝統工芸展

日本工芸会山口支部主催による
展覧会です。波多野善蔵、岡田
裕、野坂康起、納富晋、波多野英
生、止原伸郎、樋口大桂、兼田佳
炎、玉村登陽、野坂和左、厚東孝
明、岡田泰、松尾藻風の作品が展
示されます。

5月20日(金)～29日(日)
山口市亀山町3・1 山口県立美
術館(083・925・7788)

九州地区

■九州新幹線全線開業記念 現代
陶芸薩長展 in 鹿児島
萩陶芸家協会と鹿児島陶芸家協
会が共催して開催します。

薩摩焼60点、萩焼60点程度
4月20日(水)～5月5日(木・祝)
鹿児島県鹿児島市城山町7・2
鹿児島県歴史資料センター黎明館
(099・222・5100)

萩市関係

■藍場川の家ギャラリー
○にしむらひろしペン画作品展
3月3日(木)～28日(月)
○押し花 白井豊子、神田安子、
原田三恵 三人展
3月31日(木)～4月25日(月)
萩市川島294 藍場川の家

新規(再)加入会員

森本悦子さん (東京都中央区)
大岡和雄さん (広島県呉市)
岡章次さん (埼玉県さいたま市)
横尾早苗さん (大阪府大阪市)
山口雄三さん (神奈川県横須賀市)
平野出さん (東京都品川区)
大橋恵子さん (萩市)
福井圭見さん (周南市)
末若哲也さん (下関市)
野村恒雄さん (下関市)
雪野勝也さん (下関市)
藤村宏祐さん (下関市)
藤山昭さん (下関市)

高橋友一さん (下関市)
井上富美代さん (下関市)
萩焼会館さん (萩市)
花谷英子さん (大阪府堺市)
三牧幸啓さん (東京都千代田区)
金子猛さん (下関市)
池部三郎さん (大阪府寝屋川市)
出羽伸次さん (東京都文京区)
小川雍子さん (神奈川県横浜市)
吉崎志朗さん (高根県浜田市)
木村峰康さん (山口市)
山川朋子さん (神奈川県横浜市)
的場正剛さん (東京都墨田区)
後藤重男さん (大阪府枚方市)
(12月25日～2月24日27人)

(0838・26・1536)

■アートショップTAZZ企画展

○藤本剛 春の器展
ニット製品の販売をします。
3月11日(金)～27日(日)
萩市東田町144
アートショップTAZZ
(0838・26・6020)

■萩焼きやらしい彩陶庵の企画展

○中土井律子 個展

広島生まれ、現在萩市在住の美
術家で2009年の第63回山口県
美術展で優秀賞を受賞。
3月12日(土)～21日(月・祝)
午前9時30分～午後5時30分
萩市呉服町13 彩陶庵
(0838・25・3110)

■萩往還ワンデーウォーク

萩市伝統的建造物群保存地区に
指定された佐々並市や各所史跡を
巡るウォーキング・イベント。
とき 3月26日(土)
コース・スタート時間
佐々並コース(20・3km 午前9時
明木コース(10・8km 午前10時
問い合わせ
萩市スポーツ振興課
(0838・25・7311)

■傳宿天十平の企画展

○京都の陶芸家清水善行の作品展
3月26日(土)～4月3日(日)
萩市南古萩町33・5 傳宿天十平
(0838・26・6474)

■萩自由画室 絵画小品展

藤崎恒頼の作品が展示されます。

5月1日(日)～31日(火)
萩市西田町 ギャラリー藤川
(0838・22・0650)

■萩美術協会展

5月14日(土)～18日(水)
萩市大字江向510
萩市民館小ホール
(0838・25・3131)

■大屋窯SALE

期間中の4月30日、5月1日、
3日～5日は出張喫茶カペリン珈琲
がやっています
4月30日(土)～5月5日(木・祝)
萩市椿905 大屋窯
(0838・22・7141)

■ウィレッジコンサート

○小曾根真(ピアノ)コンサート
5月14日(土) 午後7時と午後9
時の2回公演
料金 7000円
萩市土原291・1ウィレッジ
(0838・25・6596)

テレビ情報

■歴史秘話ヒストリア「幕末の英
雄・高杉晋作の英断(仮)」
高杉晋作生誕地や野山獄跡、明
倫館など高杉晋作ゆかりの地で撮
影が行われました。

放送予定日 4月中旬の水曜、午
後10時～10時43分
放送局 NHK総合

■「eo光チャンネルPLUS」
歴史ろまん紀行 藤田伝三郎く奇
兵隊から財閥へ(無料動画サイト)

出版情報

■「長州と京都く幕末維新の歴史
巡り」 出羽修著
萩市出身の出羽修さん(萩工業
高29年卒)が自費出版。

幕末の政治の拠点・京都に残る
長州ゆかりの史跡や志士達の活動
をつづった観光巡りのガイド。
価格 900円/95頁
申込 出羽修
(072・635・1485)

■日本航空(JAL) 国際線の機
内誌4月号
コラム「愛しのローカルフード」
で、今注目の魚、萩の宝石を食
すとして金太郎が紹介されます。

プレゼント

①松前ひろ子「萩みれん」のCD
を2名様。
②NPO法人維新・人・夢浪漫の
「萩かるた」を2名様。

■応募方法

ハガキに品名、住所、氏名、電話
番号、近況等を明記のうえ、萩
ネットワーク協会プレゼント係ま
で。3月末日(消印有効)。

維新の道 「萩往還」を歩く

萩〜山口・防府



唐樋札場跡から最初の悴坂一里塚

日本海に面した山口県萩市と瀬戸内海沿いの防府市を結ぶ「萩往還」(約53km)は、幕末に高杉晋作や桂小五郎らが疾走した維新の道でもある。峠道にはいまも多く石畳が残され、街道筋の集落には往時の面影が漂う。

起点となる萩の唐樋札場をスタートし市街地から国道262号を南へ。橋本川をわたり山陰本線の上を橋で越えると旧道、つまり萩往還道へ入る。夏みかん畑の中の緩やかな上り道が続き、吉田松陰の歌碑がある「涙松跡」で小休止した。

最初の一里塚(約4km)が悴坂(かせがさか)一里塚で、大きな石積み道のしるべである。このあたりから石畳と土の道になり、街道歩きがぐっと増す。宿場町の明木で下関方面への赤間関街道

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838-25-1750

2月19日(土)~3月21日(月・祝)
◇萩・椿まつり 笠山椿群生林

3月6日(日)
◇萩・しろ魚まつり 萩魚市場

3月13日(日)
◇萩の真ふぐまつり 萩魚市場・道の駅「萩しーまーと」

3月26日(土)
◇萩往還ワンデーウォーク 佐々並・明木~中央公園

3月27日(日)
◇萩の酒まつり 千春楽味楽亭

5月1日(日)~5日(木・祝)
◇萩焼まつり 萩市民体育館

5月3日(火・祝)~4日(水・祝)
◇萩・大茶会 萩城跡指月公園外

5月3日(火・祝)~4日(水・祝)
◇萩往還まつり「技・明木展」 乳母の茶屋周辺(明木)

とわかれ一升谷へ入る。道幅は4.5kmあり、落ち椿(つばき)の花弁が寂しさを誘う。

山里の棚田を縁取るように落合川にそって下ると、赤がわらの屋根が連なる佐々並集落へ出た。萩から約6時間。

「北 長門国阿武郡」「南 周防国吉敷郡」という防長国境の石柱を見て、一ノ坂の急坂をいっきに下る。山口市街地に出たところで、

「北 長門国阿武郡」「南 周防国吉敷郡」という防長国境の石柱を見て、一ノ坂の急坂をいっきに下る。山口市街地に出たところで、

元日経新聞編集委員 土田芳樹 (阿武町出身、萩高昭和40年卒)



道の駅「萩往還」のすぐ近くにある竹林。苔むした土の道が続く

郷土料理レシピ⑨

萩・川上・むつみ・須佐・旭・福栄・阿武町

のっぺい(汁) (能平)

材料 (10人分)

・里いも	500g	・だし汁	700cc
・ごぼう、にんじん	各1本	・塩	小さじ3
・れんこん	1櫛	・砂糖	大さじ4
・しいたけ	3枚	・だしの素	1袋
・こんにゃく	1枚	・水溶き片栗粉	少々

作り方

- ①里いもは皮を取り、適当な大きさ(一口大)に切り、塩をふっておく。
- ②ごぼう、れんこんを適当な大きさ(一口大)に切り、下ゆでしておく。
- ③しいたけは水で戻し、6~8等分する。
- ④にんじん・こんにゃくを適当な大きさ(一口大)に切っておく。
- ⑤塩をふっておいた里いもをよく洗う。
- ⑥材料を全部鍋に入れ、だし汁を入れて火にかける。
- ⑦6が煮立ってきたら調味料を入れて、中火で40分位煮る。
- ⑧仕上げに水溶き片栗粉を入れて出来上がり。



郷土料理豆知識!

日本全国に分布する郷土料理の一つであるが、地方により使用する食材は若干異なる。冬場を中心として、萩城下町の普段のおかずとして祭りや仏事、客のもてなし料理としても親しまれていた。本来は葛粉を使ってとろみをつけていたが、現在は片栗粉や小麦粉が使われる。

こだわり

- 萩** 仏事の時には精進にする。ギンナンが入る。
- 福栄** 汁の程汁気が多くなり、煮物より汁気が多い。